

| | |
|------|------|
| 通し番号 | 4815 |
|------|------|

| | |
|------|-------------|
| 分類番号 | 27-C9-34-01 |
|------|-------------|

| |
|---|
| (成果情報名) 観測ブイの機能向上について |
| [要約] 相模湾内に設置している流向、流速、水温の観測ブイを改良し、定置網の「急潮」に対する安全対策の向上を図った。 |
| (実施機関・部名) 神奈川県水産技術センター・相模湾試験場 連絡先 0465-23-8531 |

[背景・ねらい]

本県の主要漁業である定置網漁業に甚大な被害をもたらす「急潮」に対する防災対策として、相模湾内の潮流や急潮の発生を把握するため、流向、流速、水温をリアルタイムで観測できるブイを平成15年(初代)に小田原市江之浦沖に設置した。その後、観測ブイを平成21年(二代目)に更新し、観測を継続してきた。

今までの観測ブイの使用実績から、浸水による故障やセンサー部分への付着生物の付着による測定精度の低下、また、保守管理のための定期的なメンテナンス作業の労力など、観測ブイの運用上の問題点を把握することができた。

そして、観測能力の向上を図るため、改善すべき課題について検討し、今回、平成28年6月に三代目となる観測ブイに更新するにあたり、観測ブイの性能を向上させる改良を行った。

[成果の内容・特徴]

- 1 防水性能の向上と軽量化により、浸水による故障とメンテナンスの作業労力を低減することが出来た。
- 2 浸水による故障やセンサー部分への付着生物の付着による測定精度の低下が減少したことにより、観測データの精度の向上し、定置網の安全対策により貢献することが出来る。

[成果の活用面・留意点]

- 1 当該事業の対象である「定置網漁業」は本県における主要漁業種類であり、その数は相模湾を中心に県下で100ヶ所近く存在している。

当該事業の成果は、県下の定置網漁業者全てに対して有効なものであり、今後も普及し活用されるものであるとともに、定置網の操業の安全は、県産水産物の県民への安定供給を図るうえで、大きな役割を果たすものである。

今後の課題は、より精度の高い観測データの収集と情報提供のため、観測ブイの設置数を増やすことであり、そのためには、より安価な観測ブイシステムの開発が必要である。

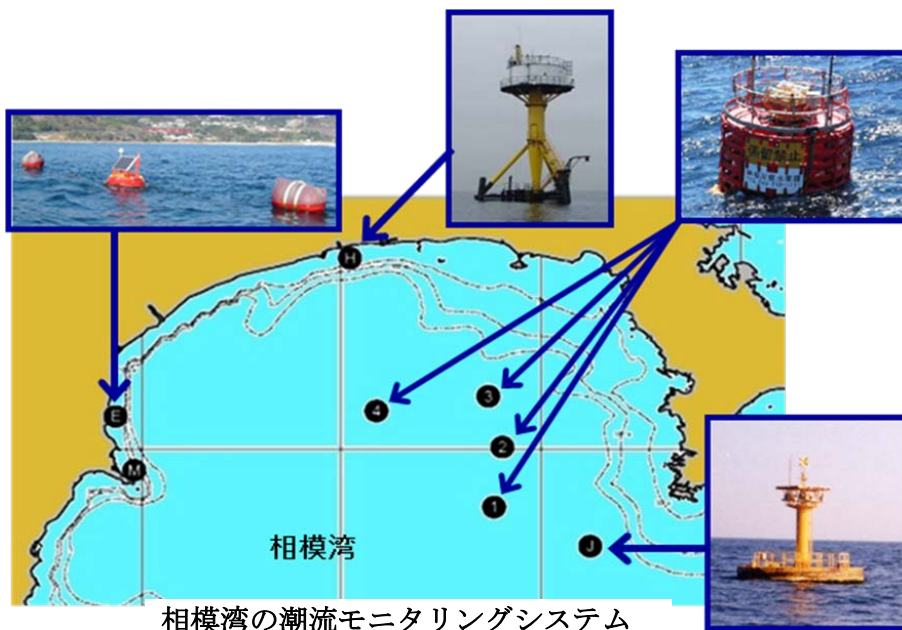
[具体的データ]

○主な仕様の変更点

| | 現 行 型 | 二 代 目 |
|------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 全天候化 | ○（電源用のソーラーパネルを本体内に内蔵、水深50mまでは耐えられる） | ×（電源用ソーラーパネルは外部設置で、波をかぶる程度は良いが水没は禁止） |
| 軽量化 | 80kg（本体とバッテリーの軽量化） | 160kg |

現行型

二代目



定置網安全対策情報

2015/5/12

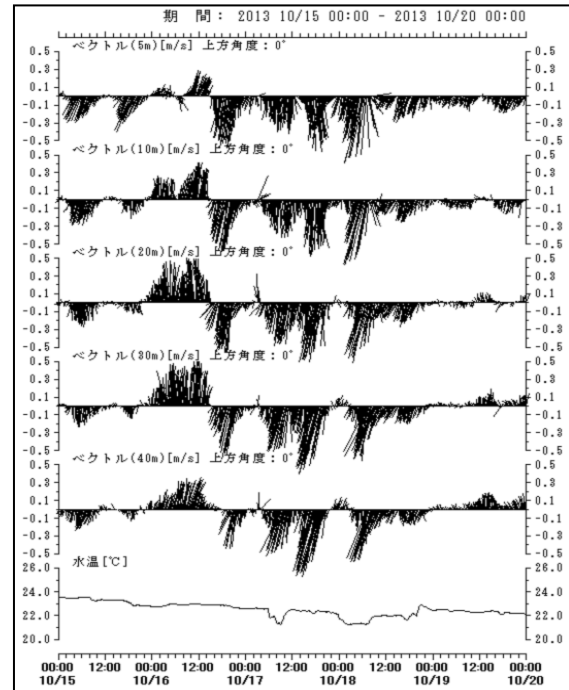
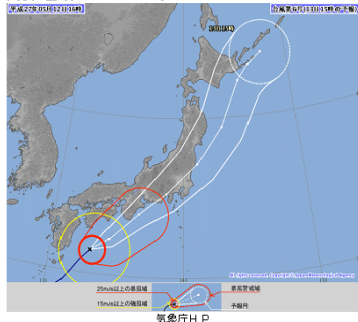
神奈川県水産技術センター相模湾試験場
企画資源部
静岡県水産技術研究所伊豆分場

台風6、7号に警戒して下さい。

台風第6号は、平成27年05月12日16時現在、足摺岬の南約150km（北緯31度25分(31.4度)、東経133度00分(133.0度)）にあり、北東に75km/h(40kt)で進行中、中心気圧994hPa、最大風速30m/s(55kt) 最大瞬間風速40m/s(80kt)です。

台風第7号は、16時現在、マーシャル諸島付近（北緯10度00分(10.0度)、東経158度05分(158.1度)）にあり、中心気圧985hPa、中心付近の最大風速30m/s(55kt)、最大瞬間風速40m/s(80kt)です。

今後の台風の進路に注意の上、台風の接近通過時の強風波浪、通過後の後急潮に十分、警戒してください。



急潮情報の発信による漁業者への注意喚起

- [資料名] 神奈川県水産技術センター業務概要平成23～27年度
- [研究課題名] 沿岸漁業開発試験
- [研究期間] 平成23～27年
- [研究者担当名] 村上哲士、高村正造